

課題番号2

課題名	重点課題3 農業ビジネスを加速させる技術開発・普及・農地利用の促進 ぶどう波状型ハウスの自動換気装置の開発普及	
対象： JA大阪中河内ぶどう同好会 他55名	計画期間：H29～33	事務所名：中部農と緑の総合事務所
普及課題	活動方法	活動成果
①革新的農業技術の普及 ②革新的農業技術の普及 ③革新的農業技術の普及	①実証展示ほの調査 ②現地検討会の開催 (農業者へ導入推進) ③市販の換気装置の展示ほの設置	①データ分析結果を踏まえ、プロジェクトチームにより「自動開閉装置導入マニュアル」を作成。 ②現地検討会の他、普及広報紙による情報提供。市補助金事業の予算化(1戸利用)。 ③一定の温度上昇抑制効果を確認。費用対効果を検証した。

総合評価 (コメント)
<p>A : 7名 B : 1名</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ぶどう生産農家のビジネスを加速させる技術導入であり、他の生産者への普及効果も期待できる。 ■マニュアルができており、今後はこれを活用した飛躍的發展に期待が高まる活動といえる。 ■装置の故障等に対する監視システム導入によるコスト増が、費用対効果にどう反映するのか等の課題をいかに解決するか。 ■傾斜が多いぶどう園地についてもどのように設備を拡充していくかも考えてほしい。普及させるための予算化もしっかり。 ■費用対効果がよく分からなかった。目標設定に「省力化」があっても良いと感じた。革新的技術を追求してほしい。 ■次のステップに向けた課題が抽出されているので、それを解決できる計画を早期に策定してほしい。 ■展示ほは、もう少しほしいところ。まだまだ改良されていくと思う。自動装置が増えれば心と時間の余裕ができ、生産拡大や良品生産につながる。

評価 A:おおむね適切である。 B:部分的に検討が必要である。 C:見直しが必要である。

普及指導計画への反映状況等
<ul style="list-style-type: none"> ■自動開閉装置の導入普及を図るため、「自動開閉装置導入マニュアル」を活用して、柏原市や交野市の装置導入のメリットが高いぶどう生産者に働きかける。 ■大阪版認定農業者支援事業や柏原市の補助事業を活用した自動開閉装置の導入を、産地や関係機関が一体となって取り組むことによって、ぶどう栽培の省力化と心と時間の余裕が生まれ、ぶどうの生産拡大や品質向上を図る。 ■自動開閉装置の不具合等に対応するため、現場ニーズに合わせた遠隔監視システムの新たな導入検討を図る。